



2022年5月11日

各 位

会 社 名 株式会社ミライノベート
代表者名 代表取締役社長 泉 信彦
(コード：3528 東証スタンダード市場)
問合せ先 経営管理本部長 竹谷 治郎
(T E L : 03-3470-8411)

営業外収益（受取利息）及び営業外費用（持分法による投資損失）、 並びに特別損失（前渡金評価損）の計上に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第4四半期連結会計期間において、営業外収益（受取利息）及び営業外費用（持分法による投資損失）、並びに特別損失（前渡金評価損）を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（受取利息）の内容

当社及び当社の連結子会社である株式会社日本エネライズは、当社の持分法適用子会社である RFP Wood Pellets, LLC（以下、「RFPwp」という。）に対し事業資金の貸付け（以下、「本貸付け」という。）を行っております。本貸付けについては、約定により2021年10月末時点における利息累計額を元本に組入れた上で、3ヵ月毎の元本の一部返済並びに同期間における発生利息の支払いを受けておりますところ、利息の元本化により貸付金元本が増加したことから、利息の計上額も増額しております。

本貸付けの他、その他の貸付金に係る利息と併せ、当第4四半期連結会計期間において、63百万円の受取利息を営業外費用に計上いたしました。

なお、2022年3月期第3四半期連結累計期間においては1億68百万円の受取利息を計上しておりましたので、2022年3月期連結累計期間においては累計で2億32百万円の計上となります。

2. 営業外費用（持分法による投資損失）の内容

RFPwpは、2021年12月期の期中において長期供給契約に基づく木質ペレットの販売が開始したものの、当該期においては費用計上が先行し収益計上額を上回りました。これに伴い当社は、2022年3月期第4四半期連結会計期間において、RFPwpの2021年10月1日から2021年12月31日に係る期間の損益についての持分割合として持分法による投資損失を営業外費用に91百万円計上いたしました。

なお、2022年3月期第3四半期連結累計期間においては31百万円の持分法による投資損失を計上しておりましたので、2022年3月期連結累計期間においては累計で1億23百万円の計上となります。

3. 特別損失（前渡金評価損）の内容

当社は、再生可能エネルギー事業において太陽光発電所の取得に関する売買契約を締結しておりますが、決済条件が整わないことから当初期限に対し売主側の債務履行遅延状態となっている案件があります。当社と売主とは決済期限を延長し交渉を継続しているものの、交渉が長期化している現状並びに解決への将来見通しから、支払済みの手付金 70 百万円の回収可能性は低いと判断し、当第 4 四半期連結会計期間において前渡金評価損として 70 百万円を特別損失に計上いたしました。

4. 連結業績に与える影響

上記の営業外収益（受取利息）及び営業外費用（持分法による投資損失）、並びに特別損失（前渡金評価損）は、本日公表の「2022 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上